

令和3年度事業報告

令和3年 4月 1日

令和4年 3月31日

I 概況

当会は、法人会の基本的指針に則り、今年度も納税意識の高揚、会員の研鑽、社会への貢献を図り、公益社団法人として使命を達成するため、今日まで地域経済発展の担い手として事業活動を展開してまいりました。

しかし一昨年に続き昨年も1月から3月の緊急事態宣言からはじまり、計3回の緊急事態宣言、その後もまん延防止重点措置が続き、自粛活動を余儀なくされました。10月以降、ようやくワクチン接種が進んだことで、人の動きが戻り回復の兆しが見えてきた矢先、感染力の強い変異株の出現により感染者が徐々に増え始め、今年1月から再びまん延防止措置が発令され行動制限がなされました。

このような状況から、環境はデジタル化へと大きく変化し、当会も従来のスタイルを変えて事業を実施して参りました。

特に定款の目的に掲げる税知識の普及を目的とした研修会等は、リモート開催も活用し、年間を通じて可能な限り開催をして参りました。

公益事業としては、一昨年同様、「ほうじん劇場（寄席）」をサルビアホールにて無観客で開催し、その模様を収録。地元ケーブルテレビ局の協力を得て、11月の「税を考える週間」の期間中、42回にわたり放映いたしました。

また、地域振興助成事業として、地域を元気にする活動を行っている団体への一助として助成金交付事業を実施いたしました。総額50万円、13団体への助成金の交付を、今年3月に地元のイベントホールにて行い、交付式後は元大相撲力士「舞の海秀平」氏を講師にお迎えし地域振興助成事業講演会を開催いたしました。まん延防止措置が発令期間中でしたので、参加人数はホール収容人数の半分250名の開催となりました。

一方、最重要課題である会員増強活動は、コロナ禍で活動も制限され、会員企業の業績も影響を受け退会希望の申し出も顕著なものとなりました。この危機を乗り切るべく、本会および支部役員は、退会防止に力を入れる一年となりました。

ご協力を頂きました皆様には深く感謝申し上げますとともに、引き続きご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

以上